

## 令和 6 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立下新庄小学校 学校協議会

## 1 総括についての評価

学校の取り組みはおおむね評価できる。目標としている数値に達していない項目がわずかにあるものの、改善傾向であり、今後も継続して取り組みを進めてほしい。

今年度、学校や P T A 、地域も 5 年ぶりに制限なく活動を進めることができた。子どもたちのために互いに協力して取り組みを進め、子どもたちの輝く姿をたくさん見ることができ大変良かった。今後も、子どもたちが楽しく学び、成長できるように頑張ってほしい。

## 2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

## 年度目標：安全・安心な教育の推進

## 全市共通目標（小学校）

○小学校経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90% 以上にする。

**R6 : ③84.2% ④87.7% ⑤91.9% ⑥81.8% Ave 86.4%**

○年度末の校内調査に 6 において、不登校の児童の在籍比率を前年度より減少させる。

**R6 (年度末) : 3.05% R5 (年度末) : 3.62%**

○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を毎年増加させる。

**R6 (年度末) : 0.57%**

## 学校園の年度目標

○令和 6 年度の校内調査の「学校のきまりを守ることができますか」の項目について肯定的に回答する児童の割合を 85% 以上にする。

**R6 (中間) : 91.4% R6 (年度末) : 90.3%**

○校内アンケートの「学校は楽しいですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 85% 以上にする。

**R6 (中間) : 94.0% R5 (年度末) : 96.1%**

## 年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上

## 全市共通目標（小・中学校）

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 35% 以上にする。

**R6 : ③34.2% ④57.9% ⑤45.9% ⑥40.9% Ave 44.7%**

○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比をいずれの学年も上回る。

**(対大阪市 平均正答率)R6国語 : ③102.3 ④102.8 ⑤103.1 ⑥102.0**

**(対大阪市 平均正答率)R6算数 : ③100.9 ④103.8 ⑤103.7 ⑥101.0**

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすること

は好きですか」に対して最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。

**R6 : ③55.3% ④75.4% ⑤89.2% ⑥70.5% Ave 72.6%**

#### 学校園の年度目標

○令和6年度の校内調査の「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。

**R6 (中間) : 93.2% R5 (年度末) : 93.8%**

#### 年度目標：学びを支える教育環境の充実

##### 全市共通目標（小学校）

○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕

**R6 学習者用端末活用率（月平均）：5月：71.5%、6月：80.3%、7月：83.1%**

**80%以上の日数：5月：33.3%、6月：73.7%、7月：92.3%**

**80%以上の日数割合：52.4%**

○教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合を76%以上にする。

〔1年間の時間外勤務時間が720時間以下、時間外勤務時間が45時間を超える月数6以下、時間外勤務時間が100時間を超える月数0、直近2～6か月の時間外勤務時間の平均が80時間を超える月数0、を全て満たす。〕

**R7 2月時点 達成率 87.5%**

○校内調査の「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

**R6 (中間) : 88.9% R6 (年度末) : 85.6%**

○地域学校協働本部やコミュニティースクールなどの仕組みを生かして、学校の美化や登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営など、保護者や地域の人との共同による活動をおこないましたか」に対して、肯定的に回答する児童・生徒の割合を85%以上にする。

《学校アンケート》学校は、地域・保護者のかたと取り組む活動・授業を行っていますか。

**R6 (中間) : 88.1% R6 (年度末) : 93.8%**

- ・数値的には不登校児童の割合が改善している。今後も引き続き児童のそれぞれの状況をふまえ丁寧に対応し、関係諸機関と連携し対応を進めてほしい。
- ・学校を楽しいと感じる児童が多く安心した。否定的な回答をしている児童も一定数いるので、楽しく学べる学校になる工夫等を進めてほしい。
- ・地域・保護者との活動について、ほとんどの児童が肯定的に回答している。今後も、協力して取り組みをすすめていきたい。

### 3 今後の学校園の運営についての意見

学校の取組を今後も応援したい。今後もこどもが安全・安心に学べる環境づくりをしながら、学校が楽しいと感じられるような取り組みを進めてもらいたい。